

社会と文学

東大講師（上）
青柳晃一氏講演要旨

力行会報徳社文化部長主催の文化講演会は、去る二十二日午前九時から平市公会堂で本間て開き東大講師青柳晃一氏が「社会と文学」と題しやく三時間に亘つて講演、聴衆に多大の感銘を与えた。以下その講演要旨である。

不思議な機縁でこの地方と結ばれ、今では野木社長さんの御厄介になって父と母が住む四倉の町が私の第二の故郷ともなり皆さまにお話し出来る機会を得たことを有難く思います。

本探険」という題で日本各地の様々な異なる文化をとらえて居りました如く、東京に育ち、いゆる故郷喪失していた私の実感は今、かのホメロスのエディセイス（ユリシイズ）がトロイを重んね合わせてみるもので、我々と別のものでないという実感で読むものです。現代は陳外のも時代であるといわれています。人間が人間であることを忘れて、商品資本主義の中

「社会と文学」という題は非常に茫漠として掴みどころがなく又私の学んでいる分野も専門の怒りを受けて十年の長い放浪を終えて、ギリシャの故郷に帰る途中、海の神オセイデの引き離されて機械の一部分のように、巨大な機構にしばらく

的に極めて極限された文学ですが今日は専門的ではない体験に即した。ふつう考えてはみなかった、しかし、ぜひとも考えなければならぬテーマを取り上げてみます。



現代は疎外の時代

人間が人間を忘れていく

浪を幾多の艱難に耐えつゝ、絶えず故郷に残した最愛の妻と子語のように第二の故郷をここに思ひながら過ごしたという物見えだし、オデッセイ的なものを経験したわけです。私の個人的人格的な、つまり生々

友と会う時の風流とは縁のない様々の現実を思いやり、自分の楽しみを他に押しつけず自分のうちに楽しんだのであった。心のつよい深い者のみが持つ東洋の芸術観を表わしているように思えます。

れなさを書いたのにたいして沢山の批評が道德的な面から、とくに十代の道德的混乱を憂うる人達からよせられたが、愛し合った二人の若者が海の上で健康にタワむれる場面は、古今人間の一つを喜びとして繰りかえしともありました。

凡ゆるものを生命と認め、古の連帯感で受けとめ、古の神話のように自然感、連帯性の中で生きることです。

個性を抑圧する社会の

ども、話題の多くは我々自國自愛
 地方から出て来て都會の誘惑に
 敗けてゆくもの、打ち勝つてゆ
 くもの、人生そのものがオディ
 スセイヤーなのです。
 文學というのはとくに古典
 というものは、我々自身の体験
 と生きていくための自分自身の
 充足感、そういうものを満たす
 のが文學です。支那の故事に「
 四有交泰の故事」というのがあ
 る。四有という詩人が或る冬の
 夜、ふと覺ると、この地にはは
 珍らしきシン／＼と雪の降りつ

ボードレーの詩の一節を詠んでも人間生活の騒音から離れて詩人自身が宝石のようになりきっている姿が感じられ、社会の矛盾をえぐるというのではなく、ひそかな生の喜びを夢想しうたう姿がそこにみられます。

書かれて来たことで或る種の感動を呼ぶものです。

社会的な意味だけを問題とすのではなく、昔から変らない魂の要求、生々とさせるものを追求すべきです。文学を知ることによって宇宙の様々なものと

ら逃れようとしても、必然挫折してしまう。どうしてない富の不平等、欲しい消費財を自由に手に入れない疎外感。アメリカの強い水準にある自分の国も疎外感情から来る強

猫鳴山 スキー適地か
降雪あれば直ちに実験

石城郡小川町（町長若松晴司氏）
（て観光客誘致に猫鳴山のロー
ンスキー場は昨年から開場し
たが、同地は雪も二十センチぐ
らい降るので冬はスキー場にも
なると見ており降雪を待ってい
る。

ハイヤーなら猫鳴山頂まで行け
るが、バスは小川町からやく三
里芋島まであるがここで下車、
芋島から徒歩でやく一時間半に
して山頂に登ることができる。
この山からは晴れた日には遠く
千葉県の九十九里浜から北は金
華山、相馬、双葉、石城の海岸
西は吾妻、磐梯、那須の三山を
眺められ絶好の景観地で、春は
山つじびの大木が二千本も自生
して花が咲き、附近を流れる加

し尿処理場 愈々建設

平市で関係者が先

もる氣配、外に一面の銀世界、コウくとも昇り、彼は酒を飲み詩をよんで楽しんだ。	我々はこういう夢想の楽しさを味わうことを忘れてしまつてゐる。ハムレットのオフィリアが流れて身を投げた時、コスチュームが風を含んで彼女を水に浮かして流れゆく水の不可思議なイメージ。我々が誰れも一人で生まれ一人で死んでゆくという世界の中で宇宙の凡ゆるものとつながりを持たたいという語らい。一人の生死、悲哀、歡喜、それらは全部文学の世界です。例えば石原慎太郎の太陽の季節がセックスのロコソな描写を含めて満たされない社会のやりき
「そまだエングの上流に住む友を訪ねともに楽しんでもう」「船頭よろをかせエングを逆のぼりながら酒をくみ、一人雪を見て楽しんだ。だが船が友の所まで来ると何を思ったか、そのまま彼は再び船を戻させたのである。家人が怪しむのに答えていわく「興にのって出かけ興につきてかへってきた」彼は想像のうち	語り合うことが出来まます。チャタレイを書いたヘンスは日本では不幸なゆめめだが、チャタレイは性人間と人間の結びつきとして真実のものにして考えたものです。フローアは自然と人とを本当に愛です。友人と道を歩いてでも「ホラ、風の向きかな」と云い、「自然を人間よ」と云い、ように生きてゐるものとかうらえて愛していま木にも血液が流れて生きやといひ原始林の中で生

があるを分析しています。こゝ三十数年来英その他の國で社会福祉も発達し、全体の生活水準は上昇して都市労働者が中間階級になりつつあり、選挙のスローガンも減税、インフレ防止等の物質的なものだけでは満足されなくなりつつあり精神的不满の充足、確固とした世界觀と云つたものが望まれているのです。マツカシーの赤狩り（ファシストによる偽世界觀）にもかなりの大衆の応えがあったのはそのせいでしょう。

我が國ではムード的に所得倍増がはやされているが、實際は生産が増大すればするほど所得格差が大きくなつてゆき、賃金の差、相続財産があり、倍増はやがては実現しようとも、ヨーロッパ、アメリカのような精神的失業の状態がもたらさざるようになるに違ひない。そういう時こそ宇宙世界森羅万象との結びつき、人と人との結びつき魂の要求を文学が満足させてくれるのです。

訂正 本紙第七九号（二月

孤獨感
 に於いて
 者も高
 望であること。

上げ
 定
 プを行
 三三〇
 一・四〇
 い、来る
 はかり
 た。
 二月、
 五五千二
 であつ
 六十七万
 六百四千
 八百九十
 なつて支

給する。昇給の最高は七千七百
 円、最低六百元、なお三役の昇
 給額は検討中である。

湯本芸者が水
 戸観梅へ遠征

常盤市湯本観光協会はこのほど
 役員会を開き、二月にフタあげ
 する水戸市娯楽園の観梅に恒例
 の遠征を行なうことになり、第
 二観梅の二月十九日、湯本芸者
 を中心とした観光キャラバンを
 くり出すことになった。

イ
ツ
品
ド

ランドセル
靴

帽子
学 生 帽

平 市二丁目
電 5 7 2 2

平 市三丁目大通
電 5 7 2 3

百 合

ひやくごう

タヤ
クシ粧ン
ネワ化バ

大通り
駅前
5721
市電

平市で農委選
名簿縦覧

平市農業委員選挙 名簿の縦覧
が二十日から二月一日まで市

午後五時までは行なわれる。今局の選挙人は、一万二千五百人、入会可総額は、全日本午前八時半から、可総額より三千十人の減、区別の選挙権者次のとおり

▽平二、一六〇〇飯野一、四四六〇夏井一、三四七〇巖田九三六〇高久一、三〇三〇谷第一、二三五〇神谷第二、二三二〇草野第一、一六九〇草野第二、一六六

釜流 絶景
奥飯坂六層温泉

温泉 絶景
南伊豆海岸
稲取温泉

白雲閣
白雲閣
白雲閣

電話三三三〇
電話三三三〇
電話三三三〇

平の代表的土産品

平の生んだ世界的作曲家八橋樸枝の
作曲せる名曲「六段の曲」を記念する

銘菓 六段最中

六段本舗 平 凡 平 駅前

電 2 5 0 9

和洋家具製造販売

すみたに家具店

平市一丁目角(才樋小路通り)
電話 四七二二

工場 平市尼子町専売公社前

火災に
備えて

中央式消火器

福島県総代理店

日立モートル・電気器具販売
各種ポンプ修理販売

那須ポンプ工業所

那須 清治

平市正月町六一 電三八〇八

援護化学研究所平出張所

平市月見町六四 電五六九二

ババも
ボクも
森永フ了

一家の健康に
森永牛

味も栄養
日

冬の健康を守
森永

森永乳業
平販売 K

平市5丁
電298

不動産売買仲介評価貸家斡旋

平宅地建物取引所

公認

平市才組小 路切際色川材木店内電二三六一番

